

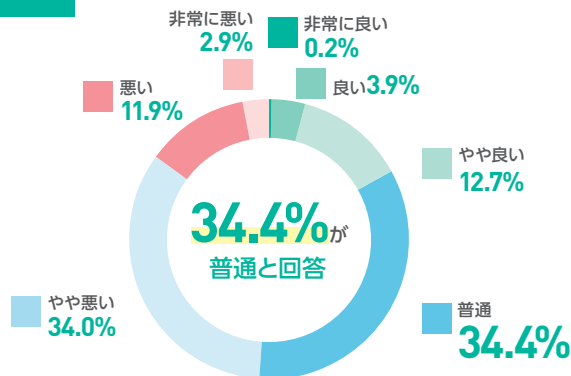
2024年(令和6年)の経営見通し

2024年の景気については、経済がほぼ正常化となったものの、原材料やエネルギー価格の高止まり、人手不足の慢性化など中小企業を取り巻く環境は厳しい状況が続くと思われます。今回は新しい年を迎えるにあたり、国内景気や自社における業況を中心に中小企業の皆さまがどのような見通しを立てているかについてアンケートを実施いたしました。

調査時期 / 2023年11月14日～12月4日 調査対象企業数 / 1600社 有効回答数 / 488社 有効回答率 / 30.5% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

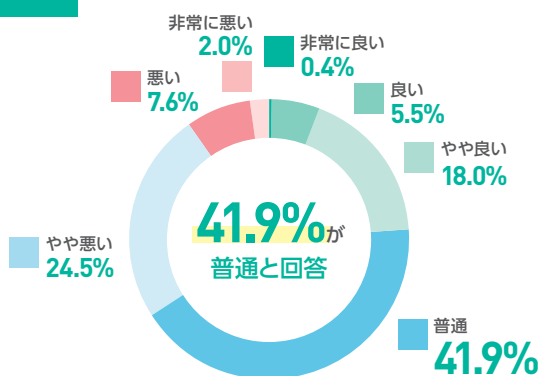
Q1

貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。 ※1つ選択



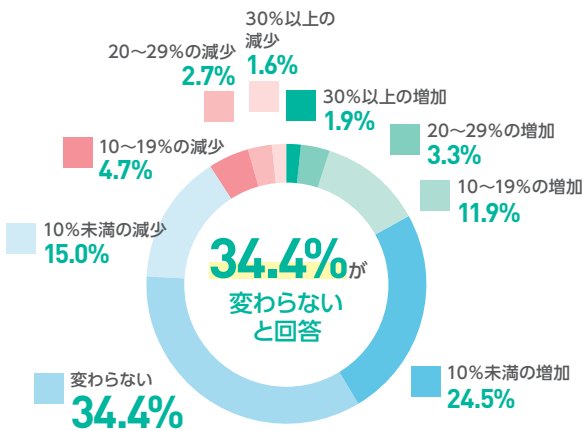
Q2

貴社では、2024年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。 ※1つ選択



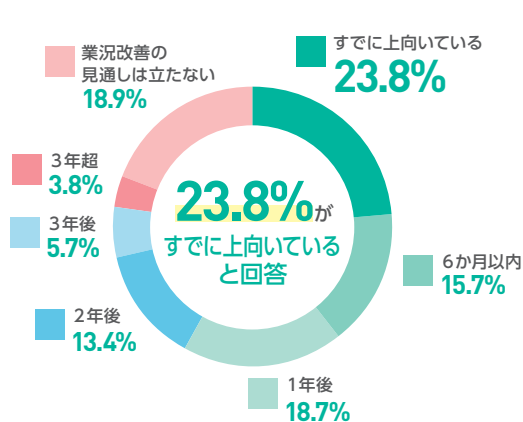
Q3

2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年に比べておおよそのどのくらいになると見通していますか。 ※1つ選択



Q4

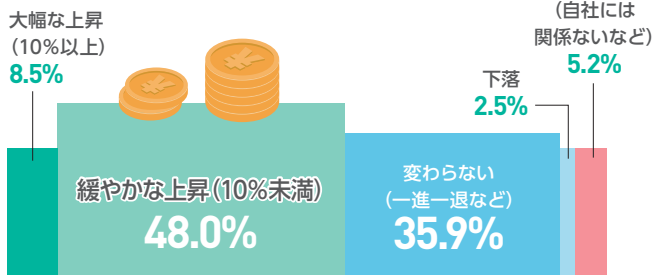
貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。 ※1つ選択



Q5

近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。 ※それぞれ1つ選択

販売価格



仕入価格

